

幹本申5号「JR東日本グループのさらなる飛躍に向けた新たな組織と働き方について」に関する説明申し入れ（その1）を行いました！

JR東労組新幹線協議会は、11月19日に会社より「JR東日本グループのさらなる飛躍に向けた新たな組織と働き方について」の提案を受けました。本施策では企画部門と融合した形の「新幹線本部」へ再編し、「新幹線運輸車両部」「新幹線設備部」「新幹線電気ネットワーク部」が設置されます。

しかし、発令単位は「部」までとなり、同一部内での業務が変わる時は「業務内容変更」の取扱いとなり、組合員・社員の今後の働き方や生活設計にも大きな影響を与えることが予測されます。

出面数は各部ごとのみ示され、各執務箇所で本当に必要な要員が確保されているのかが分からなくなるという危惧があります。要員が足りないという声が職場で増大する中で組合員・社員の安全・健康に大きな影響を与え、安全が脅かされるのではないかと強い危機感と問題意識を持っています。

職場では「要員が足りていない中でもっと働くということか」「業務内容変更という取扱いに納得できない」「自分のキャリアプランはどうなるのか」といった不満や不安の声が数多く寄せられています。

鉄道事業の安全を守り、自ら描いたキャリアを実現し、組合員・社員が働きがいを感じることがJR東日本グループの発展と社員・家族の幸福を実現し、モチベーションの維持・向上につながると考え、下記の23項目の施策に対する説明申し入れを会社に対し行いました。

申し入れ事項

1. 「JR東日本グループのさらなる飛躍に向けた新たな組織と働き方について」を実施する目的を明らかにすること
2. 新幹線統括本部を設置してきた成果と課題を明らかにすること。
3. 新幹線本部を本社組織にした目的と役割を明らかにすること。
4. 融合と連携が進む中において、チームワークでつくりあげてきた鉄道の安全に対する考え方を明らかにすること。また、各系統の技術継承の考え方を明らかにすること。
5. 新幹線本部の予算配分を明らかにすること。
6. 新幹線本部の拠点の所在地と各部の役割について明らかにすること。また新幹線企画部、新幹線運輸車両部、新幹線設備部、新幹線電気ネットワーク部の所在地を明らかにすること。

（続く）